

営農情報(令和6年2月)

作成・監修 勝浦町農業振興推進班

■かんきつ類

温州みかんの貯蔵管理や出荷に忙しい時期ですが、この時期は今年の生産に向けた準備期間で、土壌改良や園地整備、改植の準備が主な作業となります。

◇貯蔵管理

貯蔵中の腐敗の発生は貯蔵温度の影響が大きく、黒斑病を除いて高温多湿で発生しやすく、10℃以上になると発生が著しくなる。栽培中に発生する「軸腐病、黒腐病」と作業中に付けられた果皮の傷から感染する「緑かび病、青かび病」に大別できる。

- ・温湿度の基準 温度3～6℃ 湿度85%
- ・換気は外気が貯蔵温度に近い時間帯に行う。
※2月下旬頃からは外気が高くなるので、早朝や夜間にやや低めの外気を入れる。
- ・過乾燥の防止は通路への打ち水やバケツ水の設置で対応する。
- ・十分に換気出来ない場合は、換気扇を取り付けて庫内の空気循環をはかる。

◇土づくり

- ・土壌の酸度矯正のため、苦土石灰または有機石灰(サンライム、セルカ等)を10aあたり、連年施用園は100kg、中断していた園では150kgを目安に施用する。
- ・土壌改善のため、牛ふん堆肥を10aあたり最大2tを目安に、樹冠下または樹冠外周部に施用する。(隔年交互結実栽培では遊休年に重点施用すること。)
- ・特に、今年を遊休年とする園地(樹)に対しては重点施用する。

◇改植・植え付けの準備

- ・改植を予定している園地の整地にあたっては、排水対策のための畦立てや園内道の設置も計画し、管理しやすい園地にする。
- ・植栽間隔は、園地条件や樹種等により適切な距離をとる。高糖系温州は4m間隔を基準として、間伐予定樹をその間に植えると初期収量を確保できる。
- ・植え穴は直径1m、深さ30～50cm程度の植え穴を掘り、掘り上げた土に堆肥20kg、苦土石灰2kg、ようりん500gを混和して準備しておく。

◇園地整備

- ・園内作業道の整備と併せて、間伐や縮伐により作業環境の改善を図る。
- ・間伐は受光体制や防除効果の向上が期待でき、作業性や品質の改善を図ることができる。

■ジャガイモ

◇植付け準備

- ・植え付けの適期は、2月中旬から3月上旬。
- ・植え付けの2週間前に10aあたり、苦土石灰50kgと堆肥500kgを施し、十分に耕運する。
(土壌がアルカリになると「そうか病」の原因になるので、苦土石灰は控えめに施用する。)
- ・植付けの2日ほど前に、種いもを切り分ける。
- ・頂点を中心に一片が40～50gになるように切り分け、切断面を良く乾燥させてから植付ける。

◇植付け

- ・植付け前に元肥を10aあたり窒素成分で10kg程度施用する。
- ・幅60～70cmの畝を立て、種イモの切り口を下にして、25～30cm間隔で植付ける。
- ・覆土は7～8cm程度とする。



■タマネギ

◇追肥・中耕・土寄せ

- ・極早生・早生の追肥は、2月上中旬を、中生・晩生は、3月上旬を止め肥とする。
- ・追肥は窒素成分で10aあたり3kgを目安とする。
- ・肥料は条間へ施し、畝の表面を軽く耕して、中耕(雑草防除)を行う。
- ・その後、株元へ土寄せして、玉の露出による緑化を防ぐ。
- ・肥料の遅効きは、玉の肥大を遅らせるだけでなく、貯蔵性も悪くなるので、肥料のやりすぎや、時期が遅れないよう注意する。

◇病害虫防除

- ・べと病(葉に黄色病斑を形成)は4月から5月にかけて曇雨天が続くと多発します。
- ・べと病予防のために、2月下旬～3月中旬までに、
ダコニール1000 1,000倍(収穫7日前まで/6回以内)または
ジマンダイセン水和剤 400～600倍(収穫3日前まで/5回以内) を散布してください。

【お知らせ】

■エコファーマーの制度改正について

- ・エコファーマーの根拠法令が変わり、持続農業法が廃止され、みどりの食料システム法に移行しました。みどりの食料システム法の認定制度は、農林漁業者が環境に配慮した事業活動の実施計画を作成し、知事の認定を受けることで、税制・金融面の支援が受けられるようになる制度です。
- ・環境に配慮した事業活動とは、土づくりと化学肥料・化学農薬の使用低減を一体的に行う事業活動のことであり、徳島県ではこの事業活動を導入し、化学肥料・化学農薬を県慣行レベルから2割以上低減することを目指す農家を引き続き「エコファーマー」として認定します。

◇認定を受けるメリット

- ・農業改良資金等の無利子融資が活用できます。
- ・設備投資の際に税制優遇を受けることができます。
- ・国庫補助金の採択で優遇されます。(ポイント加算)

◇申請手続き

- ・認定を希望する農業者は、市町村に申請書類を提出し、県が認定を行います。
- ・申請をお考えの方は、まず徳島農業支援センターにご相談ください。申請に必要な土壌分析も実施しております。

【イベント案内】

■勝浦みかん町民公開講座のお知らせ

日時:令和6年2月2日(金)13時開会

場所:勝浦町農村環境改善センター

基調講演『楽しんで柑橘栽培』～毎年のようにおこる異常気象にも対応するために～

和歌山県海南市下津町 マルヨ農園 岩本 治 氏

事例発表『1日バイトアプリ「daywork」を利用して』

勝浦町坂本 寿園 上野 裕子 氏

【お知らせ】

■勝浦町農業振興対策事業補助金(町単事業)の申請締め切りについて

- ・今年度より標記事業の申請締切が2月末と早くなっております。
- ・事業活用を検討している方は、急ぎ役場農業振興課にご相談ください。
- ・申請締切は、令和6年2月29日(木)となります。締切日を過ぎた申請は受付できませんのでご注意ください。

＜お問い合わせ先＞

勝浦町農業振興推進班

勝浦町農業振興課42-1505 JA営農振興課088-538-7180 徳島農業支援センター088-626-8768